

国防軍によるレナモ党基地の占拠について（続報）

平成25年10月25日
在モザンビーク日本国大使館

在留邦人の皆様

10月21日の国防軍及び警察機動部隊によるソファアラ州レナモ党基地の占拠に関する報道記事の続報をお送りいたします。大使館においても引き続き、治安当局に問い合わせを行い情報を入手しているところです。

なお、今後も同事件の影響によりソファアラ州の治安の悪化が懸念されますので、在留邦人の皆様におかれましては、引き続き、各報道機関の情報によく注意し、ソファアラ州近郊への出張、旅行等を予定されている方は、それらの是非を含め自らの安全につき真剣に検討を行い、十分な安全対策を講じることをお勧めいたします。

<報道概要>

- ・24日（木）、ゲブーザ大統領より交渉人として指名されているロレンソモザンビーク理工学大学学長がレナモ関係者と電話で連絡を取ったところ、ドゥラカマ党首は今回の国防軍による攻撃に対する報復行為は考えておらず、対話を望んでいるとの回答があった。
- ・ジンバブエ外務副大臣は、モザンビークが再び紛争状態になることは決して許されることでは無いとし、レナモの暴力的姿勢を強く非難した。

在モザンビーク日本国大使館

TEL： 21－499819／20（土日祝日を除く8：00～17：00）
84－4171150（土日祝日）